

第56回

# 全国青年大会

— 八重瀬町3種目で大健闘 —

青年たちが日頃取り組んでいるスポーツや文化活動の発表の場として第56回全国青年大会が11月9日から12日にかけて東京を主会場に行われました。沖縄県の代表として八重瀬町からは、野球、女子バレー、フットサルが出場し野球と女子バレーが準優勝、フットサルが3位になるなどすばらしい成績を残しまし



▲準優勝したバレーチーム「八重瀬」



▲準優勝した野球チーム「八重瀬町東風平ベースボール」



▲3位に入賞したフットサルチーム「東風平F.C」  
第一戦で対戦した石川チームとの集合写真  
(東風平F.Cは、2列目青のユニフォーム)

た。

選手11名で大会に臨んだ女子バレーは決勝戦で東京と対戦。どちらのチームも一歩も譲らない展開で、1セット目(17対21)2セット目(19対21)と敗れたものの次に繋がるような試合を見せてくれました。また、野球は、一日目が順延になり2日間で5試合を戦うなど厳しい日程

の中でしたが、どの選手ものびのびとしたプレーを見せてくれました。フットサルも選手登録が5人と控えのいない状況で3位に入賞するなど、少数精鋭の戦いを見せ、沖縄県の代表として全国の舞台で大健闘しました。

## 自治公民館長・自治会が表彰される。

平成19年10月26日(金)第33回南部地区公民館活動研究発表会が、与那原町コミュニティセンターで開催されました。

当大会は毎年「南部地区公民館関係者が一同に会し、日頃の実践をもとに公民館活動のあり方と、当面する諸問題の解決に向けて、研究討議を深め、公民館のなお一層の充実・発展に役立てる。」主旨のもと毎年開催されています。

当大会において、日頃の公民館の振興・発展にご尽力された功績が認められ優良職員、優良公民館、の表彰がありました。

本町から、伊舎堂守雄さん(外間高層住宅自治会)、山内平三郎さん(白川ハイツ自治会)、国場深夫さん(新城)、中村司さん(新城)西銘喜一さん(長毛団地自治会)、の5名の方と、公民館の部で白川ハイツ自治会が表彰されました。



## 具志頭の良き風景…。白水川の清掃を行いました。

白水川は大頓から具志頭を流れ具志頭海岸へ至る河川です。ほとんどが拡幅工事によりコンクリ壁となりましたが、具志頭城跡付近の下流域に一部、岩場と滝つぼのある原初の風景を残しています。ここに、農業用プラスチックやビニル類が流れ着き、ごみが溜まっています。付近の住民によると、清掃をしても、次の大雨が降ると元通りになってしまうとのこと。上流の農地の管理者は、廃プラを側溝に落とさず、台風でビニルが飛ばされないよう厳重に管理をお願いします。



## 「ピーマンの歌」完成発表会

食育推進校に指定されている具志頭小学校では、10月29日、食育の一環として具志頭の特産品であるピーマンをアピールするとともに児童生徒においしく食べてもらいたいと生徒自らが歌詞を作り、作曲を宮古出身の地下晧さんが手がけ長毛在住の大城友弥君に歌ってもらおうという「ピーマンの歌」完成発表会を行いました。

児童生徒に向けたアンケート結果でピーマンやゴーヤーを中心にした野菜を苦手という児童に何とか食べてほしいというところから考案された今回の完成発表会、大城友弥君は、「みんなとこの歌を歌えることがとても幸せ。元気よく歌いましょう」と生徒に歌い方を指導しながらピーマンの歌を生徒全員で元気よく歌いました。



## 字富盛老人クラブが全国老人クラブから表彰

富盛老人クラブが10月11日、これまでの活動実績が大いに評価され、その優れた業績が他の模範になるということで全国老人クラブ（斉藤十朗会長）から記念品及び表彰を受けました。それを受け10月18日、富盛老人会長の玉城進吉さんと元富盛老人会長の石原誠仁さん、社会福祉協議会事務局長の川武繁男さんが町役場を訪問し表彰の報告を行いました。

65歳以上のお年寄りの約八割が老人会に加入しているという字富盛の老人クラブでは、会員の生きがいづくりのため、健康学習、社会活動等多くの事業が展開されています。特に5つのサークルが組織に位置づけられ、好きなサークルで、楽しく生き生きと活動され、高齢者学級や社会見学、奉仕活動、伝統芸能等の行事には、会員の積極的な参加により盛り上がっています。



▲写真右から川武繁男さん、石原誠仁さん、玉城進吉さん

## 親子芋ほり体験

高齢者世帯の増加や核家族化が一層進行する中、自然と触れ合うことで健全な親子関係を築いてほしいと、八重瀬町社会福祉協議会では、10月28日、ギーザ地区で親子芋掘り体験を行いました。今回の企画では、富盛、世名城、高良、後原、新城の区民に参加を呼びかけたところ87名が集まりました。参加者たちは、具志頭いも生産組合の安里美津男さん指導のもと、地元ハワイ紅いもを掘りながら、親子の交流を図りました。

